

いざという時のために備える

危機管理課・☎202247

9月1日は『防災の日』 自助・共助・公助がポイント

大規模災害の発災時は、公助(行政、消防、警察、自衛隊など)の機能が万全とは限りません。災害に

よる被害を最小限に抑えるために、平常時から防災を意識して備えておきましょう。

自助 ~自分の身を自分で守る~

- ・水、食料、日用品の備蓄
- ・ハザードマップで危険箇所の確認
- ・家具やテレビの転倒、落下防止などの安全対策
- ・家族の安否確認方法を決めておく
- ・避難所や避難経路などを確認

共助 ~地域で協力して助け合う~

- ・自主防災組織での防災訓練
- ・要配慮者の支援体制を決めておく
- ・地区の避難行動マニュアルの策定
- ・地域行事などでコミュニケーションを深め、災害時の連携を強化
- ・連絡網などを作成し連絡体制を強化



連携が重要

公助 ~行政による取り組み~

- ・自主防災組織への支援
- ・地域防災計画の策定、修正
- ・非常食、医薬品などの備蓄
- ・災害時応援協定の締結
- ・避難所の早期開設
- ・避難情報などの発信

水害や土砂災害から
命を守る!

避難所は小・中学校だけでは
ありません。安全な親戚・友人の家などに避難することも考えておきましょう。

警戒レベル4で 全員避難!

コロナ禍でも危険な場所にいる人は避難が原則ですが、すでに安全な場所にいる人は、避難場所へ行く必要はありません。

警戒レベル	とるべき行動	避難情報など
警戒レベル1	災害への心構えを高める	早期注意情報(警報級の可能性) (気象庁が発表)
警戒レベル2	避難行動を確認	大雨注意報、洪水注意報など (気象庁が発表)
警戒レベル3 高齢者などは避難!	避難に時間を要する人とその支援者は避難を開始! その他の人も早めに避難を	避難準備・高齢者等避難開始 (市が発令)
警戒レベル4 全員避難!	速やかに避難先へ避難! 移動が危険な場合は、近くの安全な場所に避難	避難勧告、避難指示(緊急) (市が発令)
警戒レベル5	命を守る最善の行動を! 既に災害が発生している状況	災害発生情報 (可能な範囲で市が発令)

※必ずこの順番で発表・発令されるとは限りません。これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じたら避難を開始してください。

※警戒レベル3・4・5の避難情報は、消防・防災情報メール、緊急速報メール、市公式ホームページ・SNS、テレビ、広報車、Yahoo!防災速報アプリなどで伝達します。

※本号に掲載しているイベントなどは、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期や中止になる可能性があります。

お知らせ

年内に動物病院で受けましょう
狂犬病の予防接種

環境政策課・☎21152

新型コロナウイルス感染症予防のため、集合予防接種を中止しましたので、未接種の際は、個別に動物病院で受けてください。
対象 本市に登録済みの犬の飼い主

申請はお済みですか？
見舞金や自動車購入補助

社会福祉課・☎21132

▼災害見舞金Ⅱ令和元年東日本台風で住家が被災した世帯の世帯主に支給
対象 災害時に市内に住家を有していた方で、災害証明書が交付された世帯
支給額 ▽全壊・大規模半壊・半壊・一部損壊(準半壊)Ⅱ20万円
▽一部損壊(10%未満)Ⅱ2万円
▼自動車購入等補助Ⅱ同台風で自動車(事業活動の用に供するものを除く)が損壊する被害を受けた世帯の世帯主に、購入ま

たは修繕にかかった経費の一部を補助

補助金額 購入または修繕にかかった経費の20%

※1台10万円、1世帯20万円を上限。

※車両保険などで補填された分は除く。

※申請は1世帯1回。

10月30日(金)が期限です
被災住宅の応急修理制度

建築住宅課・☎21198

令和元年東日本台風で被災した住宅の日常生活に必要な部分を応急的に修理する費用の一部を助成します。

対象 住宅が大規模半壊または半壊、一部損壊(準半壊)以上の被害を受けた世帯

適正な管理と点検を
屋外広告物適正化旬間

都市計画課・☎21167

広告物の安全性を確保し、危険な事故を防ぐため、ご協力をお願いします。

期間 9月1日(火)～10日(木)

至誠 通天

市長コラム No.081



和泉 聡

中動態の世界

能動態、受動態ときくと、中学校時代、英語の文法の授業で習った、動詞の過去分詞を使った書き換えのことを思い出し、実はもうひとつ『中動態』というのがあった(今もある)ということ、最近、雑誌を読んで知り『中動態の世界』意志と責任の考古学(國分功一郎、医学書院)を読みました。

國分さんは哲学者であり、本の中身はかなり難解なのですが、私なりに理解したところを端的に言う、「人の営みは、何かをした、された、という能動態、受動態で表現される単純なものではなく、何かをしたわけでもない、されたわけでもない、いつの間にか、ある事態が起きている。そういう側面があり、それは中動態という概念を使っている」といふ。そして「中動態」といふもの、人は人生の過程でさまざまな

選択をし、人と出会い、偶然を繰り返したりしながら生きていくわけですが、人の選択や意図、意志を超えた力が見えないところで働いて事態ができていく。例えば、なぜ今の仕事に就いたのか、なぜ今の相手と結婚し家族になったのか。それは『そうしたかったから』ということ以上に、気づいたらそうなっていたと表現した方が正しく、その連続が人生だということ、中動態は言っているのです。

それは『天命』と言い換えていいのかもしれませんが。そんなことを考えながら、『孟子・下』中国古典選9(金谷治、朝日新聞社)を読んでいたら、128章に「為すなくして為るものは天。致すなくして至るものは命」という言葉を見つけました。ことさら何もしなくてもそうなる、それが天。求めないのにそのようなめぐりあわせになる、それが命。人々の営みのそうした本質と向き合っていないと、市が立てる施策も的外れになっていく、気を付けなければなあ、と考えたのでした。